

社会科学学習指導案

指導者 伊達 正貴

日時 平成29年11月18日(土) 第1校時(10:00~10:50)

年組 中学校第3学年1組 計38名(男子17名,女子21名)

場所 中学校第3学年1組教室

単元 地方自治と私たち

単元について

地方自治は「民主主義の学校」と呼ばれる。公立小・中学校・高等学校の設置やごみの収集、河川や道路の管理などは、特別区や市町村、都道府県が行っている。住民にとって身近なことから、二元代表制の仕組みの中で、かつ多くの場面で住民参加を得ながら行っていることが、「民主主義の学校」と呼ばれる所以であろう。しかし、多くの地域では国政選挙と比べて地方議会や首長の選挙の投票率は低い傾向にあり、広島市においても同様の傾向が見られる。財源についても、多くの自治体では自主財源ではどうも賄いきれず、地方交付税交付金や地方債に頼らざるを得ない傾向にある。中学校学習指導要領においては、「地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる」ことを目的として学習することとし、同解説社会編では、「地域社会における住民の福祉は住民の自発的努力によって実現するものであり、住民参加による住民自治に基づくものであること、そして、このような住民自治を基本とする地方自治の考え方が、地方公共団体の政治の仕組みや働きを貫いている基本的な考え方であることについて理解させること」とされている。これらのことから、地域の課題と向き合い、その解決に向けて主体的に考える資質や能力を育成する必要があることがわかる。

本学級の生徒は、社会科の学習に対する関心はおおむね高い。しかし、資料に向き合い深く読み取ることや、複数の資料を関連づけて説明することを避けようとする傾向が見られる生徒も多い。語句を覚えることや、事象と語句の関連付けについては得意であるが、社会的事象を題材にしたときには表面的にとらえたり、自己との関わりで考えたりすることができていないことがよく見られる。生徒の住む地域が広域になるため、共通の課題として地方自治をとらえにくい状況にはあるが、先日の衆議院議員総選挙などへの関心は高く、授業のみならず休憩や昼食時にも選挙に関する質問は多く寄せられた。

指導にあたっては、資料のていねいな読み取りと、複数の資料や事象の関連づけ、比較などの作業を重視していきたい。資料については、新聞社が提供するデータベースや、自治体が公開しているウェブページの情報などを活用して、比較的収集のしやすいものを用いることとする。学習活動では、夕張市の財政再建の記事から市の行う仕事をフリーカード法で分類する活動、阿久根市の市長と議会の対立の記事から首長と議会の役割を座標軸の中で考えさせる活動などを取り入れる。これらは、思考ツールを用いたワークシートや、思考ツールを媒介としたグループ学習を展開することにより、思考過程の視覚化を目指すものである。また、本校の持つ電子黒板機能を生かし、資料提示や生徒の意見交流なども行い、資料の見方や事象への考え方を共有させていく。これらのことにより、社会的な見方、考え方を働かせ、複合した事象や事例から地方自治の現状や今後のあり方について考え、説明する力をつけていきたい。

指導目標

1. 資料からの読み取りをていねいに行い、社会的事象と正面から向き合わせるようにする。
2. 思考や表現の場面で、思考ツールを用いて思考の過程を可視化できるようにする。

指導計画（全4時間）

1. 私たちの生活と地方自治 ～夕張市の危機～ 1時間
2. 地方自治の仕組み ～阿久根市の混乱～ 1時間（本時）
3. 地方財政の仕組みと課題 ～夕張市と比較して広島市を見る～ 1時間
4. 住民参加の拡大と私たち ～広島市に囲まれた府中町～ 1時間

本時の目標

阿具根市でのできごとをもとに、首長と議会の二代表制の仕組みを理解する。

学びを豊かにするための手立て

4人組の生徒を、市長・議会・市役所職員・住民の4者に分け、担当する役割ごとに新たなグループを編成するジグソー方式を採る。担当には、新聞記事などの資料から、それぞれの立場として阿久根市の状況を読み取らせる（エキスパート活動）。読み取った内容をもとのグループに持ち帰らせ、市政の運営におけるそれぞれのあるべき役割を考えさせる（ジグソー活動）。

学習の展開

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点（◆評価）
<input type="checkbox"/> 地方政治をになう首長と議会の存在を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 市政の運営の決定権がどこにあるのかを説明できる </div>	
[エキスパート活動] <input type="checkbox"/> 資料から、それぞれの立場で市政が行われていることを読み取る。 <input type="checkbox"/> 資料から、それぞれの立場が市の状況をどのように見ているかを読み取る。 ・ 市長から見ると、議会は何でも反対して困る ・ 議会から見ると、市長は議会を開かずに勝手にものごとを決めている ・ 市役所の職員は、市長からクビにされるのを恐れている ・ 住民は、市長にも市議会にも不信感を持っている	<input type="checkbox"/> 読み取ったことを付箋に書き取らせ、似たようなもののまとまりを作らせる。 <input type="checkbox"/> 分量の多い新聞記事については、ポイントとなる部分に印をつけるなどして、読むべきところから読み取らせる。 <input type="checkbox"/> 机間指導により、各グループの進行状況を把握し、つまずきが見られるところには資料を読み取るポイントなどを示す。

<p>[ジグソー活動]</p> <p><input type="checkbox"/>それぞれの立場で読み取ったことを交流する。</p> <p><input type="checkbox"/>市政の運営における役割を考える。 「市の政治を進める重要なことを決めるのは誰だろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政策を提案するのは市長だ ・ 市長は議会を解散できる ・ 市長の提案に対して議会が賛成したり反対したりして決まっている ・ 議会は市長に対して不信任の決議ができる ・ 市長も議会も住民による選挙で選ばれている ・ 住民は市長や議会に対して解職請求ができる 	<p>○それぞれの立場が市政で行っていることをカードに記し，順位付けをさせることを通して，それぞれの役割を明らかにさせる。</p> <p>○役割を考える過程で，それぞれの関係性を図にまとめさせる。</p> <p>◆資料などをもとに根拠を示して市政での役割を説明できる【思考・判断・表現】(ワークシート)</p> <table border="1" data-bbox="922 815 1414 958"> <tr> <td>A</td> <td>3つ以上の立場に言及して説明</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>2つ以上の立場に言及して説明</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>1つの立場の役割を説明</td> </tr> </table>	A	3つ以上の立場に言及して説明	B	2つ以上の立場に言及して説明	C	1つの立場の役割を説明
A	3つ以上の立場に言及して説明						
B	2つ以上の立場に言及して説明						
C	1つの立場の役割を説明						
<p>[全体]</p> <p><input type="checkbox"/>グループで出た考えを交流する。</p>							
<p>[個人]</p> <p><input type="checkbox"/>市長と市議会の望ましい関係について自分の考えをまとめる。</p>							